

平成28年 第2回
教育委員会定例会会議録

平成28年2月9日（火）
港区教育委員会

港区教育委員会会議録

第2439号

平成28年第2回定例会

日時 平成28年2月9日(火) 午前10時00分開会

場所 教育委員会室

「出席委員」

委 員 長	澤 孝一郎
委員長職務代理者	小 島 洋 祐
委 員	綱 川 智 久
委 員	永 山 幸 江
教 育 長	小 池 眞喜夫

「説明のため出席した事務局職員」

次 長	益 口 清 美
庶務課長兼務教育政策担当課長	佐 藤 雅 志
学 務 課 長	新 井 樹 夫
学校施設担当課長	奥 津 英一郎
生涯学習推進課長	山 田 吉 和
図書・文化財課長	前 田 憲 一
指 導 室 長	渡 辺 裕 之

「書記」

庶務課庶務係長	小野口 敬 一
庶務課庶務係	鈴 木 玲 奈

「議題等」

日程第1 会議録の承認

- 1 第2432号 第10回定例会(平成27年10月13日開催)
- 2 第2433号 第17回臨時会(平成27年10月29日開催)

日程第2 審議事項

- 1 議案第8号 港区スポーツセンタープールの休止について
- 2 議案第9号 教育管理職の任命内申について(非公開)

日程第3 教育長報告事項

- 1 平成28年度港区一般会計予算案(教育関係)について
- 2 平成28年度第1回採用港区奨学生の選考結果について
- 3 幼児・児童・生徒の事故発生状況について
- 4 平成26年度学校給食費未納状況について

- 5 平成28年度港区立図書館の特別整理期間（休館）と港区立高輪図書館の臨時休館について
- 6 平成27年度卒業式・修了式「お祝いの言葉」について
- 7 平成27年度第3回港区教育委員会いじめ問題対策会議の開催について
- 8 後援名義等の1月分使用承認について
- 9 生涯学習推進課の1月事業実績について
- 10 生涯学習推進課の各事業別利用状況について
- 11 図書館・郷土資料館の1月行事实績について
- 12 図書館の1月分利用実績について

「開 会」

○澤委員長 皆さん、おはようございます。ただいまから、平成28年第2回港区教育委員会定例会を開会いたします。 (午前10時00分)

年度末に近づきますと、研究発表会をはじめ教育委員会の行事もたくさんあります。

一昨日の2月7日(日)には、東京都の中学校駅伝大会が開催されました。残念ながら、成績は上位ではありませんでしたが、生徒たちが一生懸命バトンを繋いでとても頑張ってくれていました。

昨日は、教育委員会表彰がありました。小・中学校合わせて54名の児童・生徒が、スポーツ分野や作文・感想文等において優秀な成績を収めたことから受賞されました。子どもたちは皆、いい顔をしていて頼もしくなりました。

「会議録署名委員」

○澤委員長 それでは、日程に入ります。

本日の署名委員は、永山委員にお願いします。

第1 会議録の承認

1 第2432号 第10回定例会(平成27年10月13日開催)

2 第2433号 第17回臨時会(平成27年10月29日開催)

○澤委員長 日程第1、会議録の承認に入ります。

平成27年10月13日開催の第2432号第10回定例会の会議録、平成27年10月29日開催の第2433号第17回臨時会の会議録につきましては、承認ということよろしいでしょうか。

(異議なし)

○澤委員長 それでは、承認することに決定いたしました。

第2 審議事項

1 議案第8号 港区スポーツセンタープールの休止について

○澤委員長 日程第2、審議事項に入ります。

議案第8号「港区スポーツセンタープールの休止について」説明をお願いします。

○生涯学習推進課長 それでは、議案第8号「港区スポーツセンタープールの休止について」議案資料ナンバー1により、ご説明いたします。

港区スポーツセンターのプールは、衛生管理や安全確保のため、年2回プール施設を休止し、プールの水の入れ換えと清掃、機械設備の点検作業を行っているところです。この度、今年度2回目になりますが、プール施設を休止するものです。

1 休止期間です。

平成28年3月7日（月）から3月11日（金）までの5日間となります。

2 理由です。

プールの換水、清掃及び機械設備保守点検のためです。

3 利用者への周知方法です。

「広報みなと」への掲載、「港区ポータルサイト」ホームページへの掲載、港区コミュニティ情報誌「キスポーツ」への掲載、港区スポーツセンター内でのお知らせの掲示、総合支所等窓口でのチラシ配布、みなとコールによる案内となります。

説明は以上です。よろしくご審議の上、ご決定くださいますようお願い申し上げます。

○澤委員長 ただいまの説明に対して、ご質問ございますか。

定例の保守点検ということで特に問題はないかと思いますが、よろしいでしょうか。

それでは、採決に入ります。

議案第8号については、原案どおり可決することにご異議ございませんか。

（異議なし）

○澤委員長 それでは、議案第8号について、原案どおり可決することに決定いたしました。

2 議案第9号 教育管理職の任命内申について（非公開）

○澤委員長 次に、議案第9号「教育管理職の任命内申について（非公開）」です。

この議案につきましては、人事に関する案件のため非公開としたいと思いますが、ご異議ございませんか。

（異議なし）

○澤委員長 ご異議がないようですので、港区教育委員会会議規則第13条第2項に基づき、非公開といたします。

（非公開）

第3 教育長報告事項

1 平成28年度港区一般会計予算案（教育関係）について

○澤委員長 次に、日程第3、教育長報告事項に入ります。

「平成28年度港区一般会計予算案（教育関係）について」説明をお願いします。

○庶務課長 それでは、「平成28年度港区一般会計予算案（教育関係）について」ご報告いたします。

資料ナンバー1をご覧ください。

資料の構成は、3ページが平成28年度一般会計予算（歳出）です。4～5ページが教育委員会における平成28年度新規・臨時・レベルアップ事業の一覧です。6ページが教育予算の平成28年度予算集計表（前年度当初予算との比較）です。最終ページには参考資料として、平成28年度当初予算案の概要となっています。

初めに、参考資料の平成28年度当初予算案の概要をご覧ください。

平成28年度予算は、安全で安心して暮らせる、夢と希望に満ちた港区の未来を創り上げるための予算として編成しています。一般会計予算額は、1,203億3,000万円、前年度と比較しますと62億円、5.4%増となっています。

港区の人口は、平成28年1月1日現在、24万3,977人で増加傾向にあります。この傾向は今後も続き、全ての年代において人口増を見込んでいるところです。

あわせて歳入の根幹をなす特別区民税収入は、635億4,668万円とし、対前年度比5.1%、30億6,249万円増。こちらも引き続き増収が見込まれ、安定的に推移する見通しです。

重点施策としては、1、安全・安心で快適に暮らせる港区を創り上げるためとして、①、②で取組を記載しています。

また、2、予算編成方針に掲げた重点施策として、①世界をリードする都市の魅力を発展・成熟させていくための取組、②子どもの健やかな成長に向けた取組、③誰もが住み慣れた地域で心豊かに暮らせるための取組、この3つを重点施策として掲げています。

裏面には、平成28年度の主要事業一覧として、教育委員会に関係するものが全て掲載されていますので、後ほどご覧いただければと思います。

1～2ページをご覧ください。教育関係の予算についてまとめています。

2 教育関係予算の概要です。

(1) 歳入です。28年度当初2億3,961万6,000円、前年度に対し1,067万5,000円、4.7%の増となっています。歳入においては、幼稚園保育料、就学援助費等の国庫補助金、奨学資金の返還金等を計上しました。歳入増の主な要因は、教育施設整備基金の基金利子の増です。

(2) 歳出です。事業費として新規・臨時・レベルアップ事業経費と、経常的な経費を計上するとともに、職員人件費を計上しました。28年度当初187億3,483万9,000円、前年度に対し53億4,687万2,000円、39.9%の増となっています。歳出増の主な要因は、教育施設整備基金積立金や教育センターなど教育関係の施設整備費の増があげられます。

歳出の具体的な中身として、新規・臨時・レベルアップ事業経費は、4～5ページのとおりです。

新規事業として、障害者スポーツの普及。臨時（新規）事業として、港区教育史の編さん、芝浦小学校・港南小学校の通学区域施設整備に係る調査など11事業を計上しました。臨時（継続）事業として、小・中学校特定天井等の耐震化改修、新郷土資料館等複合施設整備など11事業を計上しました。レベルアップ事業として、子育てサポート保育など4事業を計上しました。

合計24億7,168万8,000円、前年度に対して12.1%減となっています。

予算減の主な理由です。教育センターは3月上旬、旧三光小学校に移転します。この移転完了と旧スポーツセンターの解体工事が完了したことによるものが大きな要因となっています。

経常事業経費は、教育施設整備基金の積立などの増により、135億8,717万6,000円、前年度に対して72.8%増となっています。経費の増は基金です。積立金は51億5,000万円を予算計上しています。また、小学校の施設改修費、芝浦小学校の給食調理業務の委託開始なども

増の要因です。

平成28年度港区予算案については、来週2月17日開会予定の港区議会第1回定例会においてご審議いただきます。

説明は以上です。

○澤委員長 ただいまの説明に対して、ご質問ございますか。

港区全体としては人口が増加し、収入も増えるということです。全国的に人口が減少する中で、状況としてはありがたいことだと思います。年少人口が増えるのも大変ありがたいことなのですが、学校の整備等がなかなか思うように進まないというところがありますね。

それでは、この案件はよろしいでしょうか。

(なし)

2 平成28年度第1回採用港区奨学生の選考結果について

○澤委員長 次に、「平成28年度第1回採用港区奨学生の選考結果について」説明をお願いします。

○庶務課長 それでは、「平成28年度第1回採用港区奨学生の選考結果について」ご説明いたします。

資料ナンバー2です。

今回の奨学生の募集は、高等学校や大学等へ進学予定の方を対象に、平成27年11月4日（水）から12月3日（木）までの1カ月間を募集期間として、記載のとおり周知しまして実施したところです。

なお、今回、大学生の募集に際し、案内のリーフレットに採用基準のベースとなる金額の誤りがございました。配布開始後5日目に判明しまして、高等学校へ送付した募集案内は生徒への配布前に全てを差しかえることができましたが、総合支所や区の窓口においては、募集案内16枚が既にお持ちになられていたことが判明しました。これに関しては、速やかにホームページでお知らせするとともに、広報みなどで3回、また区設掲示板、各施設にポスターを掲示して訂正等を行いました。該当の方がいましたら、募集期間を延長して、12月18日までお受けすることを周知しました。

結果として、この誤った記載のチラシをお持ちになった方からの具体的なお申し出や、今回申し込みいただいた方の中に該当者がいたかどうかは、最終的に確認がとれませんでした。この件は、非常に初歩的なミスです。今後決してこのようなことがないように気をつけてまいります。申しわけございませんでした。

応募状況としては、応募者が中・高校生対象で17名、大学生等対象で11名、合計28名から応募がありました。それぞれの内訳（学校別）は、記載のとおりです。

なお、応募者について、世帯の代表者の所得を審査したところ、28名全員が認定の基準以内でしたので、1月19日開催の港区奨学資金運営協議会において、奨学生としてご決定をいただきました。決定された方に対しては、結果をお知らせするとともに、希望がかなって入学となったとこ

ろで貸し付けを開始する予定です。

裏面には、過去3年間の応募と貸付状況を記載しています。ご参考にしていただければと思います。

説明は以上です。

○澤委員長 ただいまの説明に対して、ご質問ございますか。

○綱川委員 過去では、三十何名という応募者数があったようですが、今回は28名ですね。

これは経済状態の影響ですか。何か感じることはありましたか。

○庶務課長 個々の事情を明確に分析するのは難しいですが、一つ感じる場所では、所得等も含めて以前よりは、景気の影響があるように思われます。この奨学金制度は港区議会においてもご質問をいただくことが多くあります。私どももお問い合わせがあればご案内しております。他に同様の制度もいろいろございますので、選択肢は現実には増えていると思っています。そのあたりも要因として考えています。

○綱川委員 区議会でも、給付型の奨学金制度を検討して欲しいと言う議員の方もいらっしゃるようです。国もそちらの方向に進めるような形になってきて、将来的には返還しなくてよい制度になっていくのかなと思うのですが、その辺で何か感じることはありますか。

○庶務課長 感じる場所としてお話ししたいと思います。区の奨学金制度は、返還していただいたものを次への支援の原資とする制度です。確かに国では今、高校生は授業料の無償化に伴って給付制度が始まっています。また、最近では23区の中でも、足立区や世田谷区が給付制度を開始したという報道がされています。今後の制度を検討していく上では、現状として過去に貸し付けたものの返還が思うようにいかないケースがあるなど、いろいろな状況を総合的に考えなければいけないと思っています。

足立区では、今回は募集人数を絞った形で、半額免除制度を行うようです。成績が一定のレベル以上であるとか、3年間区内に居住するなど幾つか条件をつけているようです。

単純な給付型にはならないと思いますが、条件をはじめ検討しなければいけない事項は多いと思っています。今後いろいろと考えていきたいと思っています。

○綱川委員 ぜひ前向きに、検討して欲しいと思います。大学でも理系は、企業からの給付という制度が結構あるようです。企業は、社会貢献という意味から給付を行うのでしょうか。将来を見込んで実施することが企業にとってはメリットがあることなのだろうと思います。

○澤委員長 確かに応募者数は年度によって波がありますが、これが減少傾向なのか、たまたま少ないのかわかりかねますが、景気が少しはよくなっているのでしょうか。政府は景気がよくなっていると言っていますし、大企業は給料を若干上げているみたいです。いずれにしても、奨学金は大事な制度だと思いますので、いろいろ前向きに検討していく必要があると思います。

それでは、この案件はよろしいでしょうか。

(なし)

3 幼児・児童・生徒の事故発生状況について

○澤委員長 次に「幼児・児童・生徒の事故発生状況について」説明をお願いします。

○学務課長 それでは、「幼児・児童・生徒の事故発生状況について」ご報告いたします。

資料ナンバー3をご覧ください。

平成27年2学期分です。

1 ページの事故発生件数を見ていただきますと、幼稚園は合計0件、昨年の同期も0件でした。小学校は6件、昨年の同期は8件でした。中学校は4件、昨年の同期は2件でした。合計しますと10件、昨年同期も10件でしたので、事故の件数としてはほぼ同数です。

2～3ページは、今申し上げた10件の事故の詳細です。けがの程度が重いものについて、ポイントを絞ってご説明させていただきます。

① 赤坂中学校の2年生の女子です。左上前歯の損傷です。通院14日間、現在も通院中です。体育の授業中、走り幅跳びをしていて着地をした際、左膝が左上の前歯に当たりました。歯の矯正治療のために週1回通院をしています。

② 白金小学校の5年生の男子です。左腕尺骨・橈骨骨折です。入院2日間、手術をしました。休憩時間中、校庭で鬼ごっこをしていて、後ろから走ってきた子どもと衝突、その勢いで倒れて左腕を地面に強打しました。

⑤ 赤坂小学校の1年生の女子です。左腕上腕顆上骨折です。入院3日間、手術をしました。月1回りハビリのため通院しています。休憩時間中、ピロティの雲梯で遊んでいて、手を滑らせて落下しました。

⑥ 赤坂小学校の4年生の男子です。右手首骨折で通院20日間です。体育の授業中にハードル走の練習をしていて、ハードルにつまずいて転倒、右手を地面に着きました。

⑩ 筭小学校の4年生の男の子です。左大腿骨骨折です。入院が30日間、慈恵医大に現在も入院中で、手術をしてボルトで固定しました。休憩時間中に校庭で鬼ごっこをしていて、逃げようと走っていたところ、左股関節に違和感を覚え、転倒し骨折しました。

説明は以上です。

○澤委員長 ただいまの説明に対して、ご質問ございますか。

○小島委員 骨折する事故が多いですね。今までもそうでしたか。

○学務課長 ねんざ等も多いのですが、今回は骨折が多いです。

○澤委員長 なかなか病名が難しいのですが、最近は注釈がつけてあって分かりやすいです。

○綱川委員 今日2月9日ですが、⑨の見舞金支給状況が学校へ送付済というのは受け取りを拒否しているという意味ではないのですね。

○学務課長 これは学校からの報告漏れです。1月25日に学校から報告があり、すぐこちらから見舞金を送付しています。

○澤委員長 それでは、この案件はよろしいでしょうか。

(なし)

4 平成26年度学校給食費未納状況について

○澤委員長 次に「平成26年度学校給食費未納状況について」説明をお願いします。

○学務課長 それでは、「平成26年度学校給食費未納状況について」ご報告いたします。

資料ナンバー4をご覧ください。

小学校では、未納の総額が約82万円、割合としては0.2%です。未納の児童・生徒数が34人、0.5%です。未納があった学校数は10校、約52%です。

中学校では、未納の総額が約15万円、割合としては0.1%です。未納の児童・生徒数が4人、割合としては0.2%です。未納があった学校数は1校、10%です。

合計は、未納の総額が約100万円で0.2%、未納の児童・生徒数が38人で0.4%、未納があった学校数は11校で約38%です。

次ページは、学校給食費未納状況（年度別）です。24年度分は、小学校の未納率が0.1%で、中学校が0.3%、合計が0.1%。25年度分は、小学校の未納率が0.2%、中学校が0.4%、合計が0.2%。26年度分は、小学校の未納率が0.2%、中学校が0.1%、合計が0.2%です。

小学校は未納がやや増えています。中学校はやや減少しています。全体としては、横ばいというところです。未納率は、他区等と比べると低い水準ではありますが、今後とも保護者の理解を得ながら徴収に努めてまいります。

説明は以上です。

○澤委員長 ただいまの説明に対して、ご質問ございますか。

○綱川委員 24年度分、25年度分が出ていますが、過年度分に対して、その後回収出来たか等、調査を行っていますか。これは現在の未納額ではないですよね。

○学務課長 例えば、24年度分については、平成24年度末現在の合計です。その後、定期的に調査はしております。

○綱川委員 そうすると、定期的に調査をして、平成24年度でこれだけあったうち、その後どれだけ収納されたかはわかるのですか。26年度分と書いてあるのは累積ですか。

○学務課長 はい、調査していますのでわかります。ここに示しているのは、年度ごとのその年度末での数値です。

○綱川委員 わかりました。

○小島委員 24年度分、25年度分、26年度分の未納率が小学校では、0.1、0.2、0.2と同じぐらいなのですが、中学校では、0.3、0.4、0.1とすごく減っています。これは皆さんが頑張った結果ということですか。

○学務課長 頑張っていたいただいた結果だと思います。

○小島委員 わかりました。

○澤委員長 中学校のほうは、未納が激減していますよね。努力していただいたということですね。

○綱川委員 1校だけですよね。

○澤委員長 回収する努力というのはなかなか難しいことですが、なるべく単年度で未納が出ない

ように努力していくのが一番よいことだと思います。いろいろな事情をお持ちの方がいますから難しいのかもしれませんが。

それでは、この案件はよろしいでしょうか。

(なし)

5 平成28年度港区立図書館の特別整理期間（休館）と港区立高輪図書館の臨時休館について

○澤委員長 次に「平成28年度港区立図書館の特別整理期間（休館）と港区立高輪図書館の臨時休館について」説明をお願いします。

○図書・文化財課長 「平成28年度港区立図書館の特別整理期間（休館）と港区立高輪図書館の臨時休館について」資料ナンバー5を使いまして、ご説明させていただきます。

1 休館日です。

港区立図書館条例第4条の規定に基づき、特別整理期間を設定しています。

各図書館の休館日は、次ページの平成28年度港区立図書館特別整理期間日程をご覧ください。9月から10月の期間で設定しています。各図書館の休館日が重ならないように調整をしています。

みなと図書館と三田図書館は、特別整理期間を6日間設定しています。その他の図書館は5日間、高輪図書館分室は子ども図書館ということもあり、4日間を設けるものです。この間、第3木曜日は開館し、利用者にご不便をかけないよう工夫してまいります。

2 特別整理期間を使って行う業務内容です。

所蔵資料と電算データの照合をします。これは本があるかないかの確認です。その結果本がない場合は、その不明資料等の調査を実施し、その本を探し出す作業をします。施設・設備の点検整備、修繕工事なども、この間にまとめて実施します。

3 港区立高輪図書館臨時休館日（全3日）と休館理由です。

高輪総合支所との複合施設であるため、建物全体の消防設備点検、受変電設備法定点検を行うために、この特別整理期間のほかに5月9日（月）、10月10日（月・祝）、11月14日（月）に臨時休館をするものです。

4 利用者への周知方法です。

8月1日号の「広報みなと」への掲載を予定、「ひろば」7月号への掲載、「港区ホームページ」及び「港区立図書館ホームページ」への掲載、区立図書館内にポスター掲示及び窓口でのチラシ配布などにより周知をしてまいります。

なお、高輪図書館の臨時休館については、高輪支所と合同で実施しますので、「広報みなと」への掲載等については今後調整し、「広報みなと」への掲載、「ひろば」お知らせ記事への掲載、またホームページ等にも掲載してまいります。

以上、簡単ですが、ご報告させていただきます。

○澤委員長 ただいまの説明に対して、ご質問ございますか。

○小島委員 説明にあったように、特別整理期間を重ならないようにしたことは大変よかったと思

います。

○綱川委員 不明資料等の調査を行うようですが、不明資料は結構あるものですか。

○図書・文化財課長 極力探して見つけ出すという作業を通常5日間ほど行います。

○澤委員長 借りた人がなかなか返さないというケースが多いですか。

○図書・文化財課長 違う書架に入れてあったという場合もあります。

○澤委員長 そうですか。

○図書・文化財課長 今年度、図書館システムの更新にあわせて、蔵書点検機器を新しいものに取り替えます。来年度からはリアルタイムでわかるようになってきますので、もう少し時間的に節約できて、きちんとしたものが出てくるのではないかと思います。とりあえずシステム上で抽出されたものは全部チェックするという作業を行います。先ほど言ったように違うところに置かれたものを探し出して整理します。

○永山委員 台場区民センターの図書室の特別整理は、委託等、別な形で行っているのですか。

○図書・文化財課長 台場区民センター図書室は、芝浦港南支所の管轄になっています。芝浦港南支所からK i s s ポート財団に一旦業務が委託され、K i s s ポート財団がTRCに再委託をしています。契約等が不明瞭だという問題もありますので、来年度に向けて問題を整理し、来年度からは、きちんとした形で実施されていくと思います。

台場区民センター図書室は、休館日を設けていないので、なかなか整理しづらいという問題があるようです。

○澤委員長 それでは、この案件はよろしいでしょうか。

(なし)

6 平成27年度卒業式・修了式「お祝いの言葉」について

○澤委員長 次に、「平成27年度卒業式・修了式「お祝いの言葉」について」説明をお願いします。

○指導室長 それでは、「平成27年度卒業式・修了式「お祝いの言葉」について」ご報告いたします。

前回の臨時会で、教育委員の皆さまからご意見を頂戴し、一部を訂正いたしました。

では、読み上げさせていただきます。

まず、幼稚園の修了式です。

〇〇組の皆さん、修了、おめでとうございます。

先ほど、〇〇園長先生から、名前を呼ばれて、修了証書を受け取られた皆さん一人ひとりの姿はとても立派でした。園長先生のお話を聞かるときも、姿勢よくしっかりと聞くことができました。今までの幼稚園の生活を通して、皆さんがしっかりとしたお兄さんお姉さんに成長したことが伝わってきました。

皆さん、〇〇幼稚園で楽しい思い出がたくさんできたでしょうか。

皆さんは、毎朝、おうちの方と手をつなぎ、「おはようございます。」と元気なあいさつをして幼

幼稚園に通いました。そして、おうちの方が作ってくれたお弁当をおいしく食べたことでしょう。おうちの人に「ありがとう。」という気持ちを忘れないでくださいね。

幼稚園では、片付けや当番の仕事など、進んで自分のことは自分でしたり、なわとびやこま回しなど、少し難しいことにも繰り返し挑戦しました。

友達と、協力して取り組んだ劇や合奏、力いっぱい走った運動会など、心に残る思い出がたくさんできましたね。

これまで、みんなが力を合わせて頑張ってきたので、〇〇幼稚園はますます明るく楽しい幼稚園になりました。

4月から皆さんは小学校1年生です。港区の小学校では、国語や算数のほか、英語の勉強も始まります。お昼にはおいしい給食を食べます。わくわくドキドキするような楽しいことが皆さんを待っています。新しい友達との出会いも楽しみにして、たくさん遊び、たくさんのことを勉強して、元気な1年生になってください。

さて、保護者の皆様、本日はお子様の幼稚園修了、誠におめでとうございます。ご家庭で愛情を注いで育ててこられたお子様の晴れの姿に、胸を熱くされたことと思います。

子どもたちの心豊かで健やかな成長は、ご家庭の愛情はもちろんのこと、PTA並びに地域の皆様、関係の皆様の温かいご理解とご支援、ご協力のおかげです。心から御礼申し上げます。

結びに、本日まで園児を教え導いてくださいました、〇〇園長先生をはじめ、教職員の皆様に深く感謝申し上げ、お祝いの言葉といたします。

平成28年3月17日。港区長、武井雅昭。港区教育委員会。

「いただきました」というところを「食べた」と訂正させていただきました。「〇〇組の皆さん」という部分の記載については、きちんと掲載をしてお渡ししたいと思います。

一点、今読んでいて気がついたことがあるのですが、よろしいでしょうか。

○澤委員長 どうぞ。

○指導室長 「これまで、みんなが力を合わせて頑張ってきたので」とありますが、みんなを皆さんで統一します。

○小島委員 「友達と、協力して取り組んだ劇や合奏」とありますが、合奏という言葉は幼稚園で日常的に使っている言葉ですか。

○指導室長 はい、使っています。3歳児では合奏という言葉は使わないのですが、5歳児になると、小学校とのつながりということで合奏という言葉を使っています。これは5歳児が対象なので合奏としたところ です。

○小島委員 わかりました。

○澤委員長 それでは、幼稚園はよろしいでしょうか。

(なし)

○澤委員長 次に小学校の卒業式をお願いします。

○指導室長 小学校の卒業式です。

卒業生のみなさん、本日ここに小学校6年間の全課程を修了され、晴れて卒業のときを迎えられましたことを、心からお慶び申し上げます。

保護者の皆様、お子様のご卒業、誠におめでとうございます。大きく成長されたお子様の姿をご覧になり喜びもひとしおのことと思います。

ただいま、みなさんは校長先生から一人一人、卒業証書を受け取りました。みなさんの凛々しい表情から、卒業の日を迎えた喜びと、これからの中学校生活に対する大きな期待を感じました。

ここで、新たな生活に向かって羽ばたく卒業生の皆さんに、港区並びに港区教育委員会より、一言お祝いの言葉を贈ります。

昨年9月から10月にかけて、ラグビーの第8回ワールドカップイングランド大会が開催されました。日本が、過去ワールドカップで二度優勝している南アフリカを破り大金星を挙げたことは記憶に新しいことと思います。日本がワールドカップで勝つのは1991年大会以来、24年ぶりのことで、3点リードされて迎えた終了間際の日本の逆転勝利を、多くの人が「史上最大の快挙」と称賛しました。ワールドカップでなかなか勝つことができなかった日本が南アフリカに勝つことができたのは、たまたま勝てたわけでも、相手の調子が悪かったわけでもありません。世界一厳しいと言われるほどの練習を地道に積み重ねることで自信をつけてきた結果です。

日本代表は、前回のワールドカップの敗戦から、勝つために必要な課題を明らかにし、緻密に練られた強化プランを着実に実践したのです。練習は朝5時から、夜にはウエートトレーニングを行い、着ているシャツを絞れば、数リットルもの汗が出るほどの厳しい練習でした。技術面で力をつけたことで、一歩先を見据えるようになり、どの選手も戦術について自分の考えをしっかりと伝え、議論することができるようになったそうです。

選手たちは、技術面だけではなく、精神面も強くなったことで、自信がみなぎりました。勝ちたいという思いと自分のチームへの誇りも芽生え、「勝って新しい歴史をつくる」という強い信念を持つことができたのです。だからこそ、過酷な練習にも耐え、あの歴史的な勝利を得ることができたのです。

卒業生のみなさんは、自分の将来について、いろいろな夢や希望を抱いていることでしょう。ぜひ、ラグビーの日本代表にならい、強い信念を持ち、努力を積み重ね、挑戦し続けてください。辛いときや悩むときもあるでしょうが、きっと夢を実現できる日が来ると信じて、これからの道を進んでいってください。

結びに、〇〇校長先生をはじめ教職員の方々と、本校の教育活動に惜しみないご協力とご理解を賜りましたPTA並びに地域の皆様に心より感謝を申し上げますとともに、〇〇名の卒業生の皆様のご健康とご活躍を心からお祈りし、お祝いの言葉といたします。

平成28年3月25日。港区長、武井雅昭。港区教育委員会。

小学校については特段訂正をしてございません。ご指摘いただいた、勝利について、選手たちは自分たちが勝つのだという思いを持っていたというところを、やはり「たまたまでもない」というあたりがこの文章の中には含まれているということから、そのままにしてございます。

○小島委員 「日本代表は、前回のワールドカップの敗戦から」という段落があります。その4行目に「一步先を見据えるようになり」というところがあります。「一步先を見据えるようになり」の、この「見据える」とは可能を言っているのですか、それとも未来を予測するように言っているのですか。もし可能であれば、もっとはっきり「一步先を見据えることができるようになったので」とはっきり言ったほうがよいのかなと考えたのですが、いかがでしょうか。

○指導室長 ただいまのご指摘については、少し検討させていただきます。考え方としては、技術面で力をつけたことで、自分たちの練習の内容などを総合的に一人一人が一步先を見るというか、皆で見据えて考えながらやっていくということなので、この表現で可能な表現として考えるので良いと考えます。その文の結びに「議論することができるようになったそうです。」となっていることで、最後の「できる」に係ってくると言えなくもないのかと思います。

○小島委員 すこし検討してみてください。

○綱川委員 ぐるりと反転してトライした場面がありました。これをより称賛したために、5段落目の5行目に「多くの人」が」と書いてありますが、「世界の多くの人」が」と言ったほうがよりインパクトが強いかと思います。考えてみてください。意見です。

そして、幼稚園では「一人ひとり」と書いてあって、中学校と小学校では「一人一人」と書いてあります。統一しなくてよいですか。

○指導室長 ご指摘のように、港区は「一人ひとり」で統一していますので表記を変えます。

○綱川委員 お願いします。

○永山委員 「皆さん」も漢字で統一したほうがよいですね。

2ページの6段目に「練習は朝5時から、夜にはウエートトレーニングを行い」と書いてあるのですが、イメージとしては、朝5時から夜まで練習やトレーニングをしているということなのか。

○指導室長 合宿中のイメージと承知しています。

○永山委員 わかりました。

○澤委員長 それでは、よろしいですか。

(なし)

○澤委員長 次に、中学校の卒業式をお願いします。

○指導室長 中学校の卒業式です。

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。本日ここに義務教育9年間の全課程を修了され、晴れて卒業のときを迎えられましたことを、心からお慶び申し上げます。

保護者の皆様、お子様のご卒業、誠におめでとうございます。立派に成長されたお子様の姿をご覧になり、喜びもひとしおのことと思います。

ただいま、皆さんは校長先生から中学校3年間の課程を修了した証である卒業証書を受け取りました。皆さんの清々しい表情からは卒業の日を迎えた喜びと、これからの人生に対する大きな期待が満ちあふれており、その堂々とした姿は頼もしい限りです。

ここで、新たな進路に向かって羽ばたく卒業生の皆さんに、港区並びに港区教育委員会より、一言お祝いの言葉を贈ります。

昨年、港区にキャンパスがある北里大学の大村智特別栄誉教授は、寄生虫に起因する人の失明の危機を微生物の特性を生かして治療する「イベルメクチン」という薬剤を開発したことが評価され、ノーベル生理学・医学賞を受賞しました。イベルメクチンは、画期的な薬剤だと言われ、現在治療効果が世界中で認められており、開発途上国を中心に毎年2億人以上の患者を救っています。この薬剤の実用化は、非常に困難とされていましたが、大村教授は約40年もの間挑戦し続け、高い理想と大きな夢を抱いて、努力を積み重ねてこられました。この姿勢は、私たちの生き方に多くの示唆を与えてくれます。

大村教授は、「私は人の倍、失敗している。失敗したからよかった。失敗が必ず役立つと思いながら研究を続けてきた。」と語っています。この言葉からは失敗を必ず成功に結びつけるという大村教授の信念が感じられます。

また、大村教授は、祖母からの「人の役に立ちなさい。」という教えと北里大学の人の役に立つ研究である「実学の理念」を大切に、「微生物の力を借りて多くの人々の役に立つことはないかと絶えず考えていた。」とコメントしています。このことから、常に人のために考え力を尽くし、よりよい社会の形成者として生きることのすばらしさを感じ取ることができます。さらに、「1人でなく、みんなでやるからできる。研究グループの一人一人が心一つにして、大きな目的に向かって歩んでいることは幸せだ。」とも話されています。このことから、仲間と協力し、人生を切り開いていく大切さを学ぶことができます。

どうか皆さんも、明確な目標と強い意志をもち、自分と仲間を信じて粘り強く取り組み、ぜひ、夢を実現して社会に貢献して行ってください。

結びになりましたが、〇〇校長先生をはじめ教職員の方々と、本校の教育活動に惜しみないご支援とご協力を賜りましたPTA並びに地域の皆様に心より感謝を申し上げますとともに、〇〇名の卒業生の皆さんのご健康とご活躍を心からお祈りし、お祝いの言葉といたします。

平成28年3月18日。港区長、武井雅昭。港区教育委員会。

前にご指摘いただいたように、例が多すぎたという部分で若干整理しましたが、「イベルメクチン」というものの説明を先にしたため少し長くなりましたが、形を変えて改めてご提案させていただきます。

また、「薬剤」についてもご指摘いただきましたが、「薬剤」という言葉をいろいろ調べた結果での結論です。

○澤委員長 細かなことですが、「昨年」という段落に「港区にキャンパスがある北里大学の大村智特別栄誉教授は、寄生虫に起因する人の失明の危機を、」とカンマを入れていただけますか。「危機を、微生物の特性を生かして治療する「イベルメクチン」という薬剤を」としてください。

指導室でお祝いの言葉の案をつくっていただいているのですが、卒業式はとても大きな行事だと思います。使命感をもって、できるだけ気持ちのこもったお祝いの言葉を述べたいと思います。

○小島委員 そうですね。

○教育長 振り仮名をつけたほうがよい漢字はないですか。これで大丈夫でしょうか。

○指導室長 「清々しい」には振り仮名をつけることにします。

○綱川委員 毎年お願いをしていますが、なるべく早く校長先生や園長先生に、何をテーマにしているかをお伝えいただいたほうがよいと思います。校長先生の式辞のほうが先ですから、内容が重複すると困ると思いますので、お願いします。

○指導室長 情報提供をさせていただきます。

○澤委員長 それでは、この案件はよろしいでしょうか。

(なし)

7 平成27年度第3回港区教育委員会いじめ問題対策会議の開催について

○澤委員長 次に「平成27年度第3回港区教育委員会いじめ問題対策会議の開催について」説明をお願いします。

○指導室長 それでは、「平成27年度第3回港区教育委員会いじめ問題対策会議の開催について」ご報告いたします。

資料ナンバー7をご覧ください。

港区いじめ問題対策連絡協議会の設置に関する条例に基づき、港区教育委員会いじめ問題対策会議を設定し、年3回開催を予定しています。今回は3回目となります。本会議では、学校等におけるいじめ防止に向けた取組や取組の評価や改善方法について、意見交換や情報共有を図ります。

日時は、平成28年2月10日（水）午後3時から4時まで。

場所は、港区立教育センター。

内容については、いじめに関する現状について（11月のふれあい月間の調査の件数及び傾向）お話をいたします。11月のふれあい月間は、前回のふれあい月間でご報告している、その後の経過です。7月から11月の調査の件数、きっかけ、傾向等をご報告するものです。

そして、「子どもサミット」及び「いじめ防止啓発セミナー」について。パワーポイントを使って映像を用いながらご説明させていただく予定です。

また、3学期における学校のいじめの現状、事例等について。お二人の校長先生からお話をさせていただきます。

その後、意見交換、来年度に向けて、会議を進めてまいります。

なお、会議の構成員については、裏面の資料をご確認いただければと思います。

説明は以上です。

○澤委員長 ただいまの説明に対して、ご質問ございますか。

幸いにして、港区では、いじめに関して特に大きな問題や課題が現時点では出ていないということでしょうか。

○指導室長 特に調査委員会を開催しなければいけないような案件は出てございませんが、各学校

が行ういじめ問題対策委員会等様々な対応の中で、いじめの撲滅に向けてご努力いただいていると認識しております。この対策会議の様子、報告については、また改めて当委員会の場でご報告をさせていただきます予定です。よろしく願いいたします。

○澤委員長 いじめ防止啓発セミナーの折、明治大学の諸岡先生から、アンケートも毎月のようにやったほうがよいと、年に3回では少ないというお話もありましたので、きめ細かく調査するのが本当はよいのでしょうね。

○綱川委員 1時間の中で盛りだくさんですね。時間が足りないぐらいですね。

○澤委員長 それでは、この案件はよろしいでしょうか。

(なし)

8 後援名義等の1月分使用承認について

9 生涯学習推進課の1月事業実績について

10 生涯学習推進課の各事業別利用状況について

11 図書館・郷土資料館の1月行事実績について

12 図書館の1月分利用実績について

○澤委員長 次に、「後援名義等の1月分使用承認について」「生涯学習推進課の1月事業実績について」「生涯学習推進課の各事業別利用状況について」「図書館・郷土資料館の1月行事実績について」「図書館の1月分利用実績について」、この5件の定例報告については、配付資料のとおりです。

この案件について、ご質問ございますか。

それでは、この案件はよろしいでしょうか。

(なし)

○澤委員長 本日本日予定している案件は全て終了しましたが、庶務課長、その他何かありますか。

○庶務課長 特にございません。

「閉 会」

○澤委員長 わかりました。なければ、これをもちまして閉会いたします。

次回は、臨時会を2月25日木曜日、10時から開催予定です。よろしく願いいたします。

皆さん、お疲れ様でした。

(午前11時30分)

会議録署名人

港区教育委員会委員長 澤 孝一郎

港区教育委員会委員 永 山 幸 江